

受けていますか？

子宮頸がん検診

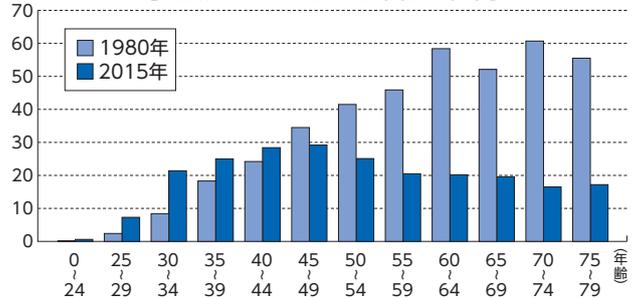
近年、20代・30代の若年層で増加傾向にある子宮頸がんについて紹介します。



子宮頸がんとは？

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス (HPV) の持続的な感染が原因となって、子宮の入り口である子宮頸部の表面の細胞にがんができる病気です。子宮頸がんは、近年、若年層で増加傾向にあり、これから結婚や出産を迎える年代の女性や幼い子どもを持つ母親にとって深刻な問題です。子宮頸がんは、若い女性の妊娠や出産の可能性、また、健全な日常生活を奪うがんと言えます。

(対人口10万人) 子宮頸がん発症の若年化の傾向



(出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
※上皮内がんを含まない

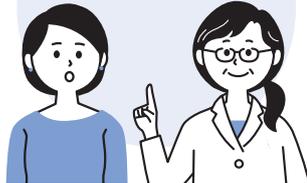
子宮頸がん検診はどのような検査をするの？

1 / 問診



初潮の年齢や生理の様子、妊娠・出産歴、自覚症状の有無などを問診票に記入。

2 / 視診(内診)



内診台で医師による診察を受けます。子宮頸部の状態を目で確認し(視診)、子宮全体と卵巣・卵管などを触診で調べます(内診)。

3 / 細胞診



ヘラやブラシのようなものを膈内に挿入し、子宮頸部の粘膜を軽くなでるようにして細胞を採取します。この時、少し出血する可能性があります。痛みなどを感じることは少ないです。

4 / 検査終了



診察時間は、10～20分です。約2～4週間で、細胞診の結果も含めた検査結果が分かります。

子宮頸がん検診について

市では、8月からがん検診が始まりました。対象のかたには7月にがん検診受診券を発送していますのでご確認ください。また、右表に該当するかたには子宮頸がん検診の無料クーポンが付いていますので、ぜひご利用ください。

平成元年4月2日～平成2年4月1日
生まれのかた

子宮頸がん検診(HPV 検診同時実施)

平成11年4月2日～平成12年4月1日
生まれのかた

子宮頸がん検診(個別検診のみ)

※検診受診の際にはがん検診受診券が必要です。紛失した場合は再発行ができますので保健センターへご連絡ください。

子宮頸がんワクチン予防接種について

小学校6年生から高校1年生相当の年齢の女性は、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種を定期接種として無料で接種できます。希望するかたは、保健センターにご相談ください。